

基本目標 1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

事業名	目的	対象	内容	平成30年度取組み及び実績	評価	令和元年度取組み																																																											
がん検診	がんの早期発見・早期治療に結びつけることにより、がんによる早世を減らす。	胃・肺・大腸： 40歳以上男女 胃(内視鏡)： 50～68歳偶数年齢 乳：40歳以上女性 子宮頸： 20歳以上女性 前立腺： 50～74歳男性	胃：X線検査・内視鏡 肺：X線検査・喀痰検査 大腸：便潜血検査 乳：マンモグラフィ 子宮頸：子宮頸部の細胞診 前立腺：血液検	1. 検診体制の充実 新 胃内視鏡検査対象者への受診券発行 受診率：10.9%（前年度実績：3.3%） ・無料対象未受診者への受診勧奨ハガキを、わかりやすい内容に変更。 【60歳無料対象者受診者状況】 <table border="1"> <tr><th colspan="3">がん検診受診状況(H31.1.31時点)</th></tr> <tr><th colspan="3">(参考)</th></tr> <tr><th>種別</th><th>H30年度 60歳受診者</th><th>H29年度 60歳受診者</th></tr> <tr><td>胃がん</td><td>104人</td><td>64人</td></tr> <tr><td>肺がん</td><td>141人</td><td>77人</td></tr> <tr><td>大腸がん</td><td>146人</td><td>129人</td></tr> <tr><td>子宮頸がん</td><td>99人</td><td>84人</td></tr> <tr><td>乳がん</td><td>121人</td><td>112人</td></tr> <tr><td>前立腺がん</td><td>66人</td><td>30人</td></tr> </table> 2. 健康管理の推進 ・精密検査未受診者へ通知及び電話での受診勧奨 勧奨数：1,359件（延）、受診勧奨率100.0% 【各がん検診受診者状況】 ※子宮頸の精検受診率は妊婦含まず。 <table border="1"> <tr><th></th><th>検診受診者数</th><th>受診率</th><th>精密検査受診率</th></tr> <tr><td>胃</td><td>2,059人</td><td>18.50%</td><td>87.50%</td></tr> <tr><td colspan="4">X線1,519人(13.6%)、内視鏡540人(10.9%)</td></tr> <tr><td>肺</td><td>2,127人</td><td>19.10%</td><td>83.80%</td></tr> <tr><td>大腸</td><td>2,622人</td><td>23.50%</td><td>75.20%</td></tr> <tr><td>乳</td><td>2,532人</td><td>55.20%</td><td>95.10%</td></tr> <tr><td>子宮頸</td><td>3,096人</td><td>55.50%</td><td>82.40%</td></tr> <tr><td>前立腺</td><td>519人</td><td>13.60%</td><td>66.70%</td></tr> </table> ※分母は、雇用率を勘案した人口（石川県方式）	がん検診受診状況(H31.1.31時点)			(参考)			種別	H30年度 60歳受診者	H29年度 60歳受診者	胃がん	104人	64人	肺がん	141人	77人	大腸がん	146人	129人	子宮頸がん	99人	84人	乳がん	121人	112人	前立腺がん	66人	30人		検診受診者数	受診率	精密検査受診率	胃	2,059人	18.50%	87.50%	X線1,519人(13.6%)、内視鏡540人(10.9%)				肺	2,127人	19.10%	83.80%	大腸	2,622人	23.50%	75.20%	乳	2,532人	55.20%	95.10%	子宮頸	3,096人	55.50%	82.40%	前立腺	519人	13.60%	66.70%	1. 検診体制の充実 ・胃内視鏡検査の受診者数が大幅に増加した。受診券を発行したことで、対象者にわかりやすく周知できたことが要因と考えられる。 ・無料対象未受診者への受診勧奨ハガキの内容をわかりやすく変更したことで、60歳無料対象者においては前年度と比較して受診者が増加した。	1. 検診体制の充実 新・大腸がん施設検診の開始 新・全がん検診の同日実施（地区会館会場） 新・乳がん施設検診の広域化 新・無料対象者の年齢見直し（60歳→65歳全がん無料） ・無料対象者へ未受診者勧奨ハガキの送付 ・レディース健診日の増設（4回→7回） ・加賀市医療センターにおける乳がん検診及び休日検診の継続（年4回）
がん検診受診状況(H31.1.31時点)																																																																	
(参考)																																																																	
種別	H30年度 60歳受診者	H29年度 60歳受診者																																																															
胃がん	104人	64人																																																															
肺がん	141人	77人																																																															
大腸がん	146人	129人																																																															
子宮頸がん	99人	84人																																																															
乳がん	121人	112人																																																															
前立腺がん	66人	30人																																																															
	検診受診者数	受診率	精密検査受診率																																																														
胃	2,059人	18.50%	87.50%																																																														
X線1,519人(13.6%)、内視鏡540人(10.9%)																																																																	
肺	2,127人	19.10%	83.80%																																																														
大腸	2,622人	23.50%	75.20%																																																														
乳	2,532人	55.20%	95.10%																																																														
子宮頸	3,096人	55.50%	82.40%																																																														
前立腺	519人	13.60%	66.70%																																																														
特定健診	国保保険者として、被保険者の糖尿病や心疾患等生活習慣病の早期発見と重症化予防を図る。	市国保保険被保険者（40歳～74歳）	問診・身体計測・診察・血圧測定・尿検査・血液検査（基準により心電図・眼底検査等）	新 1. 健診受診料の減額1,000円→500円 新 2. 健診内容の充実…心電図を全員に実施 【特定健診受診率（法廷報告）】 <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30(暫定)</th></tr> <tr><td>受診率</td><td>44.10%</td><td>42.20%</td><td>39.60%</td><td>40.70%</td></tr> </table> 【健診受診者内訳】 <table border="1"> <tr><th></th><th>集団</th><th>施設</th><th>データ提供</th><th>人間ドック</th></tr> <tr><td>受診者数</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>2,057</td><td>1,678</td><td>786</td><td>311</td></tr> <tr><td>H30(見込み)</td><td>2,114</td><td>1,749</td><td>768</td><td>337</td></tr> </table> 【40歳及び65歳特定健診無料化】 40歳27.4%（40代20.6%）、65歳49.7%（60代33.2%） 【受診率向上・未受診者対策】 ・医療機関への健診説明会の開催 ・未受診者受診勧奨通知9,871件 ・未受診者受診勧奨電話1,024件 ・保健推進員による各地区での健診受診勧奨	年度	H27	H28	H29	H30(暫定)	受診率	44.10%	42.20%	39.60%	40.70%		集団	施設	データ提供	人間ドック	受診者数					H29	2,057	1,678	786	311	H30(見込み)	2,114	1,749	768	337	・特定健診受診率は平成28年度から低下傾向にあったが、平成30年度で向上した。 ・健診受診者の内訳をみると、集団健診、施設健診受診者が向上した。 ・40歳・65歳の健診無料化継続により、同年代と比較しても受診率は高かった。	【体制】 新・特定健診・がん検診同日での開催 新・健診結果説明会の開催（各地区、中央はまとめて開催） ・受診料500円継続 ・40歳及び65歳受診料無料化の継続 ・心電図検査を健診受診者全員に実施 【周知の強化】 新・個人通知 健康診査チェック表追加 新・広報折込 健康診査ご案内 ・商工会、理美容、菓子組合、シルバー、協会けんぽ等各種団体への働きかけ 【未受診者対策】 新・特定健診対象者の内、特定健診未受診者を対象とした ①受診勧奨通知 ②受診勧奨電話 ③医療機関受診者等の発送リスト作成を外部機関に委託 ・専任者による受診勧奨電話、訪問 ・医師会と未受診対策の検討・協議 ・保健推進員による受診勧奨																													
年度	H27	H28	H29	H30(暫定)																																																													
受診率	44.10%	42.20%	39.60%	40.70%																																																													
	集団	施設	データ提供	人間ドック																																																													
受診者数																																																																	
H29	2,057	1,678	786	311																																																													
H30(見込み)	2,114	1,749	768	337																																																													

事業名	目的	対象	内容	平成30年度取組み及び実績	評価	令和元年度取組み												
生活習慣病予防 健康診査	市民自らの健康状態を理解し、健康の保持増進（健康管理）を図る。	若年者（19歳～39歳） その他（生活保護の者）	特定健診に準じる	新 1. 健診体制の充実…若年者の健診を医療機関でも実施 新 2. 受診料の減額 1,000円→500円 健診受診数 <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> <tr> <td>若年者受診数</td> <td>223人</td> <td>208人</td> <td>250人</td> </tr> <tr> <td>その他の受診数</td> <td>15人</td> <td>17人</td> <td>14人</td> </tr> </table>	年度	H28	H29	H30	若年者受診数	223人	208人	250人	その他の受診数	15人	17人	14人	・若年者健診は受診者数は増加した。 ・その他の健診の受診者数は横ばいである。	新・30～39歳の男性にも個人通知送付 ・医療機関での健診実施継続
年度	H28	H29	H30															
若年者受診数	223人	208人	250人															
その他の受診数	15人	17人	14人															
後期高齢者 健康診査	後期高齢者医療広域連合により、後期高齢者の生活習慣病予防を推進し、心身の健康の保持増進を図る。	後期高齢者医療被保険者	特定健診に準じる	・後期高齢者健診受診者数1,741人 【後期高齢者健診受診率の推移】 <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> <tr> <td>17.4%</td> <td>17.1%</td> <td>16.5%</td> <td>16.7%</td> </tr> </table>	H27	H28	H29	H30	17.4%	17.1%	16.5%	16.7%	・後期高齢者健診の受診率は横ばいである	・健診受診後の健康づくりについて、高齢者福祉部門（地域包括支援センター等）の介護予防情報便送付時に健康づくりお得情報便を同封する。				
H27	H28	H29	H30															
17.4%	17.1%	16.5%	16.7%															
生活習慣病の発症予防・重症化予防事業	予防可能である糖尿病等を中心とした、生活習慣病の発症予防・重症化予防のため、市民自らが健康状態を理解し、自己管理能力を身につけ、健康の保持増進を図る。	特定健診結果等による特定保健指導該当者及び糖尿病重症化予防管理台帳による受診勧奨対象者、優先重症化予防対象者	●発症予防 1. 特定保健指導を実施する。 2. タニタメニューを活用した適量学習を実施する。 3. 特定保健指導実施体制について市内医療機関と検討・協議する。	在宅栄養士による特定保健指導の実施 1. 特定保健指導初回利用率：80.6%（324/402人） 積極的支援 69.8% 動機付け支援 84.0%（R1.5.23時点） 2. 特定保健指導実施率 H28年度86.0%、H29年度78.9%、H30年度80.0%（見込み） 3. タニタメニューを活用した適量学習：利用36人 積極的支援 12人 動機付け支援 24人 4. メタボ該当者・予備群該当：27.7%（1,072/3,866人） R1.6.3健康カルテより	・健診結果説明会前の利用勧奨TEL及び在宅栄養士、タニタメニュー、メタボ予防・改善事業の活用により、8割の方に特定保健指導が介入できた。 ・特定健診等検討会にて特定保健指導実施率の低下（施設健診受診者に対する特定保健指導介入の難しさ等）について検討を行った。	継続：特定保健指導実施体制の拡大 委託医療機関：5医療機関に増加 ●糖尿病対策強化 【周知・啓発】 新規：糖尿病ウォークラリーや11月の糖尿病週間に併せて、糖尿病の市民団体と合同で糖尿病イベントを実施 【発症予防対策】 新規：糖尿病予防相談実施（毎月第2水曜日） 新規：血糖自己測定器を活用した保健指導 拡充：タニタメニューを活用した適量学習 【重症化予防対策】 新規：26医療機関にて歯周病施設検診（無料）の実施 新規：加賀市糖尿病協議会との連携により、重症化予防（治												
			メタボ予防・改善事業 （運動施設利用券交付事業）を継続実施する	メタボ予防・改善事業 （運動施設利用券交付事業）：利用53人 5回終了者41人（77.4%）の変化 ・運動習慣の増加率 68.3% ・腹囲減少率 51.2% ・体重減少率 22.0%	メタボ予防・改善事業の活用により、生活改善・健診結果の改善につながった。													
			●重症化予防 1. 受診勧奨判定値該当者のうち未治療者及び治療中断者を医療機関へ確実につなぐ。 2. 治療中のコントロール不良者へ治療継続の必要性や良好なコントロールのための保健指導を実施する。 ※下記の重症化予防対象者へ重点的に保健指導を実施する。 a. 糖尿病未治療者で受診勧奨判定値該当者のうちメタボ該当・予備群該当者 b. 糖尿病治療中者HbA1c7.0%以上のメタボ該当・予備群該当者 c. 心房細動の者 3. 健康管理状況確認訪問を実施し（糖尿病管理台帳の活用）、健診や医療機関受診につなぐ。 4. 加賀市糖尿病協議会と糖尿病重症化予防対策の検討を行う。 5. 重複服薬者については、国保部門担当者とともに訪問を行い、服薬指導を行う。	1. 糖尿病等未治療者への対策 <table border="1"> <tr> <th>受診結果報告書 発行数</th> <th>受診結果報告書 返信数(割合)</th> <th>保健指導希望者 数(割合)</th> <th>保健指導実施者 数(割合)</th> </tr> <tr> <td>579</td> <td>300(51.8%)</td> <td>55(18.3%)</td> <td>37(67.3%)</td> </tr> </table> ⇒未受診者に対しては全数に再受診勧奨実施 2. 糖尿病等治療中者重症化予防対策 <table border="1"> <tr> <th>受診結果報告書 発行数</th> <th>受診結果報告書 返信数(割合)</th> <th>保健指導希望者 数(割合)</th> <th>保健指導実施者 数(割合)</th> </tr> <tr> <td>286</td> <td>154(53.8%)</td> <td>25(16.2%)</td> <td>18(72.0%)</td> </tr> </table> ※1.2ともに保健指導実施時の糖尿病連携手帳活用件数：19件 3. 糖尿病管理台帳を作成し、地区毎に保健指導を実施する。 ⇒H30年度健診未受診者に対しては、健康管理状況確認訪問を年度末より実施している。 4. 加賀市糖尿病協議会との連携 ・協議会への参加2回（①歯科との連携、②活動内容について） ・研修会及び症例検討会への参加 3回 ・糖尿病週間行事による普及啓発 5. 国保部門と連携し、重複服薬者名簿にて対象者名簿を作成、レセプト確認のもと、必要な方に訪問指導を実施する。	受診結果報告書 発行数		受診結果報告書 返信数(割合)	保健指導希望者 数(割合)	保健指導実施者 数(割合)	579	300(51.8%)	55(18.3%)	37(67.3%)	受診結果報告書 発行数	受診結果報告書 返信数(割合)	保健指導希望者 数(割合)	保健指導実施者 数(割合)	286
受診結果報告書 発行数	受診結果報告書 返信数(割合)	保健指導希望者 数(割合)	保健指導実施者 数(割合)															
579	300(51.8%)	55(18.3%)	37(67.3%)															
受診結果報告書 発行数	受診結果報告書 返信数(割合)	保健指導希望者 数(割合)	保健指導実施者 数(割合)															
286	154(53.8%)	25(16.2%)	18(72.0%)															

基本施策における平成30年度主な取組み及び評価と令和元年度の取組み

基本目標2 自立した生活を送るために必要な能力の維持・向上

事業名	目的	対象	内容	平成30年度取組み及び実績	評価	令和元年度取組み																				
ラジオ体操推進事業	高齢になっても運動習慣を定着し続けるため、多くの市民が無理なく実施できる、ラジオ体操の普及を図る。	一般市民	1. ラジオ体操ステーション認定制度 2. ラジオ体操物品の貸出 3. ラジオ体操教室の開催 4. ラジオ体操 講師の派遣	<p>新 1. ラジオ体操ステーション認定制度 15団体 3団体増 2. ラジオ体操物品の貸出 CD5枚、ラジカセ1台貸出 新 3. 正しいラジオ体操教室の開催 3会場 各10回 加賀体育館 参加者数 延べ494名 山中健民体育館 参加者数 延べ 93名 スポーツセンター 参加者数 延べ129名 (リーダー養成コース)</p> <p>2施設(加賀体・山中) 参加者年齢別</p> <p>ラジオ体操に取組む頻度</p> <p>新 4. ラジオ体操教室リーダー養成コース修了生による、ラジオ体操の推進 2回 (こころまちフォーラム、動橋ひまわりの家)</p>	<p>ラジオ体操教室の参加者の内訳をみると65歳以上が約9割を占めている。参加者のうち、週3回以上ラジオ体操に取り組む者は36%、体がやわらかくなった、運動する習慣がついたなどの感想があり、高齢者の運動機能向上の機会になっていると考えられる。</p> <p>各地区でもラジオ体操に取り組める環境として、ラジオ体操ステーションを増やしていくことが必要。</p> <p>ラジオ体操教室リーダー養成コース修了生による、ラジオ体操推進活動も展開されてきている。</p>	<p>新 ・ラジオ体操物品貸与基準の緩和 CDとラジカセの同時貸出の実施 新 ・ラジオ体操ステーションの認定制度 認定要件の緩和 回数：週1回以上→月3回以上 ・ラジオ体操を中心とした運動教室を2会場で開催 (リーダー養成コース・運動習慣定着コース) ・リーダー養成コース修了生によるラジオ体操の推進 新 ・ラジオ体操ステーションにインセンティブを持たせることで数を増やし、ラジオ体操に取り組める環境を整備する。</p>																				
こころの健康づくり	自殺対策基本法や自殺対策要綱に基づき「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指す。	一般市民	1. 対面相談事業 2. 人材育成事業 3. 普及啓発事業 4. 若年層へのこころの健康づくりの普及 5. 自殺対策計画策定事業	<p>1. 対面相談事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面接</td> <td>延29</td> <td>実13名 延32名</td> <td>実17名 延28名</td> </tr> <tr> <td>訪問</td> <td>延2</td> <td>実4名 延11名</td> <td>実6名 延12名</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>延45</td> <td>延101件</td> <td>延109件</td> </tr> <tr> <td>メール</td> <td></td> <td>延77件</td> <td>延124件</td> </tr> </tbody> </table> <p>金沢弁護士会合同 暮らしと心の相談会の実施 1回2名</p> <p>2. 人材育成事業 (1) ゲートキーパー講座 8回156名 (2) 庁内外自殺対策関係部署向け研修会 「国・県の自殺対策計画について、ゲートキーパー養成の必要性」20名 講師 県こころの健康センター 所長 角田 雅彦 氏</p> <p>3. 普及啓発事業 (自殺予防週間(9/10~16)、自殺対策強化月間(3月)) (1) 自殺防止街頭キャンペーン (9/10) 相談窓口チラシ配布 500部 (2) こころの健康づくり講演会 (9/17) 「『ありがとう』の言葉は運命を開く魔法の杖」100名 講師 産業カウンセラー 岸 弘市 氏 (3) 窓口に相談窓口紹介チラシ設置 (3月) 500部 (4) かがが健幸長寿講座 (3/31) 「うつ病について」100名 講師 長谷川英裕 医師</p> <p>4. 若年層へのこころの健康づくりの普及 (1) 成人式等の若い世代が集まる機会 (2) 妊娠届出時相談時 相談窓口チラシ配布数1,000枚</p> <p>5. 自殺対策計画策定実施調査事業 (1) 庁内外自殺対策連絡会2回 (2) かが いのち支える推進プランの策定 (加賀市自殺対策基本計画)</p>		H28年度	H29年度	H30年度	面接	延29	実13名 延32名	実17名 延28名	訪問	延2	実4名 延11名	実6名 延12名	電話	延45	延101件	延109件	メール		延77件	延124件	<p>・こころの相談件数は増加しており、相談窓口の周知啓発の効果が表れていると考えられる。</p> <p>・庁内のみならず関係機関と連携して、新たな相談の機会を設けることができた。</p> <p>・平成30年度は庁内外の自殺対策に携わる関係部署の職員と自殺対策連絡会等を通じ、相談支援・精神疾患についての研修会を実施することができた。</p>	<p>・平成30年度通り。</p> <p>新 ・ゲートキーパー出前講座 (人材育成) 新 ・うつ対策チラシの配布 (働きざかり世代への対策) 新 ・SOSの出し方に関する教育(中学校) (若年層への対策)</p>
	H28年度	H29年度	H30年度																							
面接	延29	実13名 延32名	実17名 延28名																							
訪問	延2	実4名 延11名	実6名 延12名																							
電話	延45	延101件	延109件																							
メール		延77件	延124件																							

基本施策における平成30年度主な取組み及び評価と令和元年度の取組み

基本目標3 健康づくりを進める生活習慣の改善

事業名	目的	対象	内容	平成30年度実績	評価	令和元年度取組み
野菜摂取増・減塩・適量摂取普及活動	全てのライフステージにおいて、健やかな成長に必要な正しい食生活の必要性や摂取方法等普及推進する。	一般市民	1.母子保健事業や健康増進事業における栄養指導を実施する。 2.食生活改善推進員による啓発普及活動及び食育活動を行う。 3.栄養士連絡会での課題共有と各部署での展開を検討する。	1.乳幼児健診等における個別栄養指導 健康増進事業における栄養指導 2.食生活改善推進活動 ①女性がん検診会場における野菜摂取推進・減塩推進活動 全10回 797人への啓発普及 ②K A G A健康フェスタ、農業まつりにおける普及活動 3.栄養士連絡会：保育園、小中学校の給食だよりを活用した野菜摂取の啓発	・食生活改善推進員がイベント会場に向き市民の方の声を聴きながら、野菜摂取、減塩について啓発する機会を持つことができた。（食生活改善推進協議会活動参照）	平成30年度のとおり。 新 かが健康長寿講座における野菜摂取推進活動（食改とコラボによる開催） 新 Mellowかがと食生活改善推進協議会のコラボによる野菜摂取推進活動（親子ウォーキング）
ウォーキング推進事業	幼児期から高齢期まで誰もが無理なく運動習慣を形成する取組みとして、ウォーキングの正しい実施方法の啓発やウォーキングイベントを通してウォーキングを推進する。	一般市民	1.ウォーキングマップの普及 2.ウォーキングマップを活用したウォーキング会を開催する。 3.地区組織によるウォーキング会を開催する。	1.ウォーキングマップリニューアル記念講演会の開催 5月27日講師 金沢学院大学 藤原勝夫 参加者数：137名 新 2.ノルディックウォーキング会の開催 委託先：加賀市ノルディックウォーク協会 毎月第3日曜日 6月～3月 計10回 参加者延べ数 280名 新 3.ウォーキングイベント開催支援 委託先：Mellowかが 8団体 参加者142人	月1回の定例ウォーキング会の開始。毎月の参加を習慣にされている方が増えてきた。 新規の参加者が増えるよう、ウォーキング会の周知や企画に工夫が必要。	・定例ウォーキング会の開催（加賀市ノルディックウォーク協会委託） マップを活用したウォーキング会を月1回（第3日曜日）開催する。5月～計10回。 ・マップを活用したウォーキングイベントの開催支援(Mellowかが委託) 年間15回開催 企業等の団体に活用していただけるように周知が必要
かが健康長寿講座	講座を通して、生活習慣病の発症予防や重症化予防のための知識や技術を習得する。	一般市民	健康・介護・医療の分野が協働でかが健康長寿講座を開催する	かが健康長寿講座 年間12回開催 参加者 計978名 内、健康課開催 3回 参加者計380名 ・歯周病予防 80名 ・生活習慣病予防の食事 176名 ・こころの健康づくり 124名	・健康・介護・医療の分野が協働で行っているかが健康長寿講座は参加率が高い状況である。	・かが健康長寿講座を毎月1回開催。 うち、3回を健康課が担当。 6月：生活習慣病予防の食事について、 8月：歯周病予防、 9月：こころの健康づくり講演会を開催。
K A G A健康フェスタ	食や運動について、様々な体験などを通して自己の生活を振り返る機会とする。	一般市民	1.ステージイベント 2.健康づくり体験 食、ウォーキング・ラジオ体操、健康相談（血圧・骨密度・体組成の測定、運動機能分析）コグニサイズ 3.その他協力団体ブース	日時：平成30年7月14日(土)9：00～15：00 会場：かが交流プラザさくら 総来場者数：1000名 内容：よーきたまつり、加賀看護学校祭と同時開催 客層の拡充を図り、市民の健康づくりの機運を高め、K A G A健食健歩プロジェクトを市民運動として推進する。 ・ノルディックウォーキング大会 ・各種計測、健康相談 ・食体験	よーきたまつり、加賀看祭と同時開催したことで、来客数600→1000人と客層の拡充、集客効果があった。	日時：令和元年7月13日(土)9：00～ 会場：かが交流プラザさくら 内容：平成30年度継続に加え、お腹の赤ちゃんを大切に作る啓発イベント同時開催 新 健康への意識の高まりを確認できるよう来場者へのアンケートを実施する
タニタ健康プログラム	市民の健康増進やメタボリックシンドローム改善等健康管理として、「運動習慣」をつけ、「食習慣の改善」等の知識や技術の習得により、市民の生活習慣改善及び定着を図る。	運動習慣のない19歳以上の市民	1.活動量計の購入費用助成 2.活動量計を活用したWEBシステムによる健康管理サイトを開設する。 3.参加者が健康的な生活を継続するためのイベント・健康セミナーを開催する。 4.一般市民にも啓発する公開セミナーを開催する。 5.地元産食材を使った健康食であるタニタ監修メニューの開発と提供を行う。	1.活動量計の購入費用助成 K A G Aタニタ健康くらぶ参加者408名 〔内訳〕 ①性別 男性：74名(18.1%)女性：334名(81.9%) ②年齢 平均年齢：62.6歳 20～30歳代：29名(7.1%) 40歳代：38名(9.3%) 50歳代：57名(13.9%) 60～64歳代：50名(12.2%) 65～74歳代：151名(37.0%) 75歳代以上：84名(20.5%) ④データ送信率 H30.3月53.0% H30.10月44.1% H31.4月36.7% 3.継続健康セミナーの開催 ①運動・継続セミナー 10回実施 参加者 延300人 1回当たり30人 ②調理実習セミナー 1回実施 参加者35人 ③歩数イベントの開催 1回 ④タニタカフェの開催 1回 参加者30名 4.地元産食材を使った健康食であるタニタ監修メニューの開発と提供 2メニュー開発し6月より提供 提供数H29年度 9食/日 H30年度 7食/日	働き世代や男性の参加が少ない。 データ送信率が低下してきており、興味・関心のあるイベントの開催が必要。 運動セミナーの参加者が固定化してきており、参加者数も少ない。	・K A G Aタニタ健康くらぶ 新規募集200名 (株式会社エイム委託) 新・スマートフォンアプリによる参加も可能とし、若い世代にも活用しやすい体制を整える。 ・企業への周知 ・タニタ監修メニュー(2種)開発と提供
歯科検診	成人・高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるように歯の喪失を予防する。	19歳以上の加賀市民	1.歯と口の健康週間行事 2.歯周病検診	・歯と口の健康週間行事1回/年:513人参加 ・歯周病検診3回/年:135人参加 ・40歳代における進行した歯周炎を有するもの(4mm以上の歯周ポケット)71.4% ・60歳代における進行した歯周炎を有するもの(4mm以上の歯周ポケット)90.9%	・歯周病検診受診者では歯周炎を有している割合が高い状況にある。 ・歯周病検診の回数が少なく、集団検診からは治療につながりにくい。 ・歯と口の健康や歯周病と生活習慣病・認知症関連と予防法等を啓発普及するとよいと健康分科会委員意見有。	新 医療機関での歯周病検診事業 歯科・口腔保健に関する知識の普及のための講演会の開催(健康長寿講座) 8月予定「歯とお口の健康について」 小松市民病院 口腔外科医 松本氏

基本施策における平成30年度主な取組み及び評価と令和元年度の取組み

基本目標4 健康を支え守るための社会環境の整備

事業名	目的	対象	内容	平成30年度実績	評価	令和元年度取組み									
KAGA健康ポイント	市民の日々の健康づくり活動にポイントを付与し、継続した健康づくりへのインセンティブ（動機付け）により、健康づくりの実践と継続につなげる。	一般市民	健診や健康に関する事業などへの参加、1日のウォーキング目標の達成やラジオ体操の参加、3食野菜を食べるなど、健康づくりに関する自主活動でポイントが付与され、満点になったら協賛事業所が提供する参加賞と健康づくりに関連した景品を抽選で授与する。	KAGA健康ポイントカードの配布枚数 約17,000枚 参加賞の受取り 約100件 抽選への応募者数 1,740件(前年度334件) 当選者数 214人 協賛事業所 5事業所 【アンケート結果】 ・健診受診につながった 73.8% ・運動や食生活改善があった 86.2% ・健康づくりイベントに参加した 53.2% ・次年度もポイント事業に参加する99.1%	2年目となり、参加者は約5倍に増えた。ポイント活用により、「野菜を多く食べるようになった」「ウォーキングやラジオ体操をするようになった」「励みになって食や運動に取組めた」等、生活習慣改善につながった。	前年度の取組みに加え、次の点を追加・改善する。 ・継続した取組みを支援するため、ポイントの年度繰越しができるようにする。 ・周知の強化（ポスター、チラシ、広報等のほか、健診案内に同封） ・歯周病検診（施設）でも押印できるよう、健康印を配布 ・参加賞を提供してくれる協賛事業所を新規に集める。7事業所（5月時点）									
健康のまちづくり推進	妊娠前から高齢期までのそれぞれのライフステージに応じた健康づくりを総合的に推進し、健康寿命の延伸を目指すため、健康づくりを介護、医療の分野まで広く捉え、市民の健康づくりの推進の気運を高める。	一般市民 KAGA健食健歩プロジェクト関連団体等	1. かがし健康応援プラン21推進のための啓発する。 2. KAGA健食健歩プロジェクト連携推進会議の開催 3. 健康のまちづくり友好都市連盟サミットについて 4. 健康のまちづくり市内ワーキングを開催する。	1. かがし健康応援プラン21推進のための啓発普及 ・生活習慣改善取組み教材パンフレットの全戸配布（脂質異常症） 新 2. 健康づくりにスローガンポスターを作成（全体編、野菜編、運動編） 食生活改善推進協議会や保健推進員協議会の協力により普及活動を行った。 新 3. 健康のまちづくり友好都市連盟サミットの開催 日程：平成30年10月20日・21日 会場：ホテルアローレ 来場者：100人 4. 健康づくり市内ワーキング 4回54人 新 5. KAGA健食健歩プロジェクト連携推進研修会開催 平成31年3月26日 34人 講師：福井大学 井階友貴	【健康のまちづくり市内ワーキングによる成果】 ①各課の事業計画のすり合わせ（整合性） ②新たな協働による活動の増加 ③各課事業の周知及び関連団体の調整等協力・支援 ④健食健歩プロジェクト連携推進ミーティング開催にむけた研修会の開催	・かがし健康応援プラン21推進のための啓発普及 ①スローガンポスター等による啓発ポスター作成：タバコ編、歯の健康編 タバコ編について、子どもが描いた絵を募集する ②スローガンを基に生活習慣改善パンフレット（歯の健康編）全戸配布。 新・KAGA健食健歩プロジェクト連携推進ミーティングの開催 ①開催回数 2回程度 ②内容 KAGA健食健歩プロジェクトの連携状況や推進状況の共有 健康づくり事業の検討。 ・健康のまちづくり友好都市連盟サミットへの参加 ①開催日 10月19日、20日 ②開催会場 青森県大間町 ・健康のまちづくり市内ワーキングの開催（年4回予定）									
加賀市保健推進員協議会活動	保健衛生を推進し、市民の健康増進の意識高揚を図る。	全てのライフステージの市民	2年任期。区長の推薦により選出 【スローガン】 私たちは市民の健康づくりを応援します！ 【重点目標】 ①生活習慣病予防のための食事、運動を推進しよう ②特定健診受診率+5%を目指す ③がん検診受診率向上を目指す	1. 会議：総会166/416人参加。 役員会8回、理事会5回 2. 研修会：かがし健食長寿講座等8回226人参加 健康のまちづくり友好都市連盟サミット4人参加 タバコについて考えるフォーラムinかが3人参加 KAGA健食健歩プロジェクト連携推進ミーティング 5人参加 3. 全体活動：KAGA健康フェスタ2018 食生活改善推進員と協働でスローガン披露 自殺予防街頭キャンペーン いきいき大集合 4. 地区活動：21地区 <table border="1" data-bbox="1053 997 1299 1123"> <tr> <td>保健推進員</td> <td>H29年度</td> <td>H30年度</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>181回</td> <td>193回</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>10,052人</td> <td>9,393人</td> </tr> </table> 地区活動における連携団体 まちづくり推進協議会 区長会・老人会・女性会 PTA・学校・保育園等 JA：1地区 食生活改善推進協議会：5地区 スポーツ推進委員：2地区	保健推進員	H29年度	H30年度	回数	181回	193回	人数	10,052人	9,393人	保健推進員自身の健康づくりや市民の健康づくりの取組を分かりやすく・継続できるようKAGA健食健歩プロジェクトのポイント事業やスローガンの活用などにより取組んだ。 また、まちづくり推進協議会等の他、食生活改善推進員やJAとの食育事業やスポーツ推進員とのウォーキングイベント等、つながりをもって取り組んだ。	・「国保健康づくり推進事業」を委託し、地域の実情に合わせ、特定健診やがん検診の受診勧奨を実施（個別勧奨実施予定） ・健康ポイント制度を活用した地区での生活習慣病予防講座等の健康づくり活動を実施。 ・健康づくりにスローガンの普及・啓発 新・地区での健診結果活用講座の開催 新・重点目標の一つに「受動喫煙防止を推進しよう」を掲げ、KAGA健康フェスタ等のイベントにて啓発普及コーナー設置やタバコに関する児童の絵を募集し、スローガンポスターに採用する。 ・KAGA健食健歩プロジェクト連携推進ミーティングに参加し、他団体・組織とつながりを持った事業展開を推進する。
保健推進員	H29年度	H30年度													
回数	181回	193回													
人数	10,052人	9,393人													
事業名	目的	対象	内容	平成30年度実績	評価	令和元年度取組み									
食生活改善推進協議会活動	行政が推進する栄養改善業務に協力し、実践活動を通じて地域社会の食生活改善に寄与する。	全てのライフステージの市民	大人の食育講座（食生活改善推進員養成講座）を修了後、自ら食生活改善推進協議会入会し活動。 【スローガン】 私達の健康は私達の手で 【目標】 ①「いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり」実現に向け、「かがし健康応援プラン21（第2次）」の推進に協力しよう。 ②生活習慣病予防の実践活動に努めよう。 ③市民が生涯にわたって健全な心身を培い豊かな人間性を育みながら、環境にも配慮する食育活動に努めよう。 ④食文化と健康のための「加賀の食」の伝承と地産地消を推進しよう。	1. 会員数：120人 2. 会議：市総会 58人参加 南加賀、県総会 役員会、理事会等 42回 3. 研修会：市中央研修会等 9回176人参加 その他県研修会等 6回77人参加 4. 活動：生活習慣病予防講座 47回3884人、 食育講座 46回846人、 伝承料理・地産地消 11回526人 新5. 大人の食育講座（食生活改善基礎講座の名称を変更し、単位取得制にして実施） 1コース20時間17人受講 内8人が協議会入会 全体活動：KAGA健康フェスタ、健康のまちづくりサミット、農業まつり、ボランティアのつどい 野菜摂取・減塩推進活動を実施 減塩くんによる家庭訪問活動実施259軒訪問	・JAや保健推進員と連携した活動ができた。 ・各種イベントへの参加で、子どもや高齢者、男性等の幅広い対象者へ働きかけができた。 ・食生活改善推進員から、野菜や減塩の取組みは簡単に行動を変えられるものではないため、結果を求めず、地道な活動が必要との声あり。	・健康づくりにスローガン普及・啓発 ・野菜摂取推進活動 「野菜は両手いっぱい」の三度の食事」 ・減塩推進活動等 ・保健推進員、JA等と連携した食育活動 新・親子ウォーキング&ミニ食育講座の開催）Mellowかがとコラボ 7/7、7/21、8/4 3回 親子ウォーキング実施後に野菜の必要性や減塩についてお話する。 ・KAGA健食健歩プロジェクト連携推進ミーティングに参加し、他団体・組織とつながりを持った事業展開を推進する。									